

教人 第1899号
令和6年9月17日

東京芸術大学 大学長 殿

神奈川県教育委員会教育長



令和8年4月1日採用 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における
大学推薦について（依頼）

このことについて、別添の要領により大学推薦による選考試験を実施いたします。
つきましては、貴学学生等に周知いただくとともに、推薦について御配慮いただきますようよろしく
お願い申し上げます。
なお、本制度の対象者を大学3年生等（令和7年度に大学等を卒業（修了）見込みの者）としてお
りますので、御留意いただきますようお願いいたします。
また、推薦可能人数については毎年見直すこととしておりますので、御承知おきください。

1 貴学推薦可能人数

中学校 美術・技術・家庭教員区分 美術1人
障がい者区分 人数に制限はありません

2 応募（推薦）手続き

- (1) 各大学等において提出書類を取りまとめ、封筒表面に「大学推薦受験申込書在中」と朱書きの上、簡易書留により提出してください。
- (2) 同封の様式例を参考に送付状を作成してください。
- (3) 推薦する者がいない場合は、連絡の必要はありません。
- (4) 申込期間は令和6年11月18日（月）～令和6年12月12日（木）（必着）となります。

3 その他

- ・ 大学推薦制度は、必ずしも合格を保証するものではありません。
- ・ 横浜市、川崎市及び相模原市の採用試験とは異なりますので御注意ください。
- ・ 大学推薦制度についてホームページには記載していませんので御注意ください。また、質問等がある場合は下記問合せ先まで御連絡ください。その他、教員採用試験については、下記URLを御参考ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y4g/cnt/f7272/>

提出先及び問合せ先
神奈川県教育委員会
教育局行政部教職員人事課
教職員採用グループ 今井、相田
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
電話 (045) 210-8190
ファクシミリ (045) 210-8938

応募を検討中の方へ（重要）

**この募集情報は、大学の窓口を経由しての申込みとなります。
したがって、個人で応募することはできませんので、学生課アートキャリア・
オフィス窓口までお問い合わせいただきますよう宜しくお願い致します。**

令和8年4月1日採用 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における
大学推薦制度 実施要項

1 目的

この要項は、大学、短期大学、大学院または教職大学院に在籍し、成績が優秀で優れた人間性を有し、教員として実践力を発揮することが期待でき、学長等の推薦を受けた者に対し、大学推薦制度を実施するにあたり、必要な事項を定める。

2 大学推薦制度の対象

- (1) 小学校教員区分
- (2) 理科、英語に優れた力量をもつ小学校教員区分
- (3) 中学校（美術・技術・家庭）教員区分
- (4) 中学校・高等学校（外国語（英語））教員区分
- (5) 特別支援学校教員区分
- (6) 教職大学院区分（対象となる校種等・教科については教職大学院要領参照）
- (7) 障がい者区分（対象となる校種等・教科については障がい者要領参照）

3 選考基準等

試験の実施内容等については、別途要領を定める。

令和8年4月1日採用 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験
大学推薦制度 中学校（美術・技術・家庭）教員 要領

1 目的

この要領は、令和8年4月1日採用 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における大学推薦制度のうち、大学（大学院及び教職大学院を含む）から推薦を受ける中学校（美術・技術・家庭）教員区分に係る選考について必要な事項を定める。

2 選考の対象となる校種・教科

中学校 美術
中学校 技術
中学校 家庭

3 推薦申込みの対象大学

中学校教諭一種（専修）免許状（美術）の課程認定を受けている大学等
中学校教諭一種（専修）免許状（技術）の課程認定を受けている大学等
中学校教諭一種（専修）免許状（家庭）の課程認定を受けている大学等

4 推薦の基準

神奈川県公立中学校（横浜市立、川崎市立及び相模原市立を除く）の教員を第1希望とし、次の(1)～(5)を全て満たす者

- (1) 令和7年度に大学等を卒業（修了）見込みの者
- (2) 中学校教諭一種（専修）免許状（美術）所有者又は令和8年3月31日までに当該免許を確実に取得できる見込みの者、中学校教諭一種（専修）免許状（技術）所有者又は令和8年3月31日までに当該免許を確実に取得できる見込みの者、又は中学校教諭一種（専修）免許状（家庭）所有者又は令和8年3月31日までに当該免許を確実に取得できる見込みの者
- (3) 次の基準に該当し、当該大学の学長、学部長又は院長が推薦する者
 - ア 神奈川県の「めざすべき教職員像」（別紙資料）に照らして、神奈川県公立学校教員としての適性を有し、かつ教員志望の動機が明確である者
 - イ 学業成績優秀（在学時の成績「優」（80～100点）相当の数が50%以上（小数第1位を切り捨て））の者
- (4) 昭和39年4月2日以降に出生した者
- (5) 地方公務員法第16条（欠格条項）及び学校教育法第9条（欠格事由）に該当しない者

5 推薦人数

各大学につき、原則として各教科1名ずつとする。

ただし、神奈川県教育委員会が推薦人数を定める場合は、その推薦人数を限度として推薦できるものとする。

6 推薦手続等

(1) 提出書類

- ア 送付状（別添様式を参照のこと）
- イ 「推薦書」（別添様式を使用のこと）
- ウ 成績証明書（学校所定の様式）

- エ 「論文用紙」（別添様式を使用のこと）に記載の論文題に関する 800 字程度の論文（本人自筆）
- オ 「受験申込書」（別添様式を使用のこと）（本人自筆）
- カ 「受験者カード」（別添様式を使用のこと）（本人自筆）
- キ 本人への受験票等送付のための返信用封筒（角形 2 号）

※ 180 円分の郵便切手を貼付し、本人への送付先を明記すること。

(2) 申込方法

各大学において関係書類を取りまとめ、簡易書留により提出する。

封筒（角形 2 号）の表面に「大学推薦受験申込書在中」と朱書きの上、取りまとめを担当する部課、担当者名及び連絡先を明記する。

(3) 申込期間

令和 6 年 11 月 18 日（月）～令和 6 年 12 月 12 日（木）（必着）

(4) その他

模擬授業のテーマと評価の観点及び個人面接の評価の観点については別紙を参考にすること。

7 第 1 次試験（論文試験を含む）

大学からの推薦書、在学時の成績及び課題論文により選考する。

選考結果は、大学に 1 月下旬までに通知する。令和 7 年 1 月 24 日（金）までに届かない場合は神奈川県教育委員会 教職員人事課 教職員採用グループ（045-210-8190）まで連絡すること。

8 第 2 次試験（論文試験を除く）

試験内容については、模擬授業、個人面接、実技試験とする。

実技試験の内容については別紙を参考にすること。

第 2 次試験の詳細は、第 1 次試験合格者に別途通知する。

9 第 2 次試験の結果発表について

令和 7 年 3 月 19 日（水）に大学宛と本人宛に送付する。ホームページでの公表は行わない。3 月 28 日（金）までに届かない場合は神奈川県教育委員会 教職員人事課教職員採用グループ（045-210-8190）まで連絡すること。

10 採用

(1) 原則として、大学推薦制度による採用候補者名簿の登載者（第 2 次試験合格者）は、令和 8 年 4 月 1 日付けで、神奈川県内公立中学校（横浜市立、川崎市立及び相模原市立を除く）での採用とする。大学院進学等による採用期日の延期については、令和 7 年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験（夏期試験）実施要項（令和 7 年 4 月公開予定）を参照すること。

(2) 日本国籍を有しない者は、任用期限を付さない常勤講師として採用する。

11 その他

不合格になった者でも令和 7 年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験（夏期試験）に申し込むことができる。その際には、他の受験者と同様、申込み手続が必要となる。

令和8年4月1日採用 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験
（大学推薦制度 中学校（美術・技術・家庭）教員区分）について

この試験について、次のとおりお知らせいたします。

1 募集校種・教科

校種	教科
中学校	美術、技術、家庭

2 主な日程について（予定）

- (1) 要領送付 令和6年9月下旬
- (2) 申込期間 令和6年11月18日（月）～令和6年12月12日（木）（必着）
- (3) 第1次試験の結果送付日 令和7年1月中旬
- (4) 第2次試験実施日 令和7年2月中旬
※模擬授業、個人面接で1日。実技試験で1日の計2日間で実施します。
- (5) 合否結果通知送付日 令和7年3月19日（水）発送

3 模擬授業について

(1) テーマについて

中学校	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、生徒一人ひとりの確かな学力の向上をめざした授業
-----	--

内容及び留意点は次のとおりです。

- 受験する校種・教科の授業を行ってください。
- 授業は研修室を教室と見立てて行います。机や椅子の移動、着替え、照明の消灯などはありません。また、会場の電源は使用できません。なお、危険物（火気、劇薬等）の持込は禁止します。通信機能も使用禁止です。
- テーマに沿った1単位時間の授業計画を立て、指導案（注意参照）を作成し、導入から展開にかけての最初の10分間（準備、片付けを含む）を模擬授業として行います。
- 同じグループの受験者が生徒役になります。授業者から発問し、生徒役が答えてもかまいません。ただし、生徒役の受験者から質問をしたり、意見を言ったりすることはできません。
（注意） 指導案作成等の詳細は、第1次試験合格者に郵送でお知らせしますが、A4サイズの紙片面1枚にまとめてください。

(2) 模擬授業の評価の観点について

模擬授業は、次の観点で評価し、総合的に評定します。

○指導力・表現力

- ・板書・指示は的確か
- ・教材作成に創意工夫はあるか
- ・柔軟な対応ができているか
- ・子どもの意欲を引き出す構成か

○姿勢・態度

- ・活気や熱意があるか
- ・生徒と向き合っているか
- ・安心感があるか
- ・誠実に取り組んでいるか

4 個人面接の評価の観点について

個人面接は次の観点で評価し、総合的に評定します。

○姿勢・態度

- ・社会人としてのマナーを身につけているか
- ・落ちついているか
- ・まじめに対応しているか
- ・礼儀正しいか
- ・明朗快活か

○判断力・表現力

- ・質問を正しく理解しているか
- ・考えていることを十分に述べているか
- ・話はわかりやすいか
- ・音声は明瞭か
- ・用語は適切か

○堅実性・信頼感

- ・高い倫理観があるか
- ・計画性があるか
- ・公平・公正であるか
- ・肯定的に物事を捉えられているか
- ・情緒は安定しているか

○協調性・社会性

- ・リーダーシップがあるか
- ・仲間と協力して活動できるか
- ・保護者・地域の方と協力して活動できるか
- ・組織の一員として行動できるか
- ・他者を共感的に理解できるか

○専門性・多様性

- ・教育に対する情熱があるか
- ・自ら学ぶ姿勢があるか
- ・得意分野の向上と活用について考えているか
- ・豊富で多様な経験を教職に生かせるか
- ・決断力・主体性があるか

○適応性・使命感

- ・豊富な生活体験があるか
- ・子どもへの教育的愛情があるか
- ・粘り強く指導することができるか
- ・職務についての自覚があるか
- ・人権に対する認識を持っているか

5 実技試験について

実施日は、令和7年2月15日(土)を予定しています。日程及び会場等の詳細は、第1次試験の合格者に通知します。

校種・教科	実技試験の内容
中学校(美術) 2月15日(土)	「素描着彩」鉛筆によりモチーフを描き、水彩絵の具等で着彩 「立体」与えられたテーマについて、配付された紙等を用いて立体的に構成
中学校(技術) 2月15日(土)	技術分野の内容に関する基礎的実技 ・中学校学習指導要領「第8節 技術・家庭」より「第2 各分野の目標及び内容」[技術分野]「2 内容」の「A 材料と加工の技術」に関するもの (中学校技術・家庭科分野の検定済教科書に掲載されている程度の課題)
中学校(家庭) 2月15日(土)	「衣生活」に関する基礎的実技

※ 面接試験等を欠席、途中棄権した者は、実技試験を受けることはできません。

(注意) 電話等による問合せには一切お答えできません。

令和8年4月1日採用 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験 大学推薦制度 障がい者 要領

1 目的

この要領は、令和8年4月1日採用 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における大学推薦制度のうち、大学（大学院、教職大学院及び専攻科を設置する短期大学を含む）から推薦を受ける障がい者区分に係る選考について必要な事項を定める。

2 選考の対象となる校種等・教科（詳細については、同封の別紙を参照すること）

- ・小学校
- ・中学校（平成29年3月告示 中学校学習指導要領 第2章 各教科に該当する教科）
- ・高等学校（平成30年3月告示 高等学校学習指導要領 第2章 各学科に共通する各教科に該当する教科 ただし、第5節 理科（地学）、第7節 芸術（工芸・書道）及び第11節 理数は除く）
- ・特別支援学校
- ・養護教諭
- ・栄養教諭

3 推薦申込みの対象大学

教諭一種（専修）免許状の課程認定を受けている大学等

4 推薦の基準

神奈川県公立学校（横浜市立、川崎市立及び相模原市立を除く）の教員を第1希望とし、次の

(1)～(6)を全て満たす者

(1) 令和5年度以降に大学等を卒業した者又は令和7年度に大学等を卒業（修了）見込みの者

(2) 受験しようとする校種等・教科の教諭一種（専修）免許状所有者又は令和8年3月31日までに当該免許を確実に取得できる見込みの者

(3) 次の基準に該当し、当該大学の学長、学部長又は院長が推薦する者

ア 神奈川県の「めざすべき教職員像」（別紙資料）に照らして、神奈川県公立学校教員としての適性を有し、かつ教員志望の動機が明確である者

イ 学業成績優秀（在学時の成績「優」（80～100点）相当の数が50%以上（小数第1位を切り捨て））の者

ウ 中学校・高等学校 外国語（英語）を希望する者は、TOEIC（IPテストは除く）730点以上、TOEFL-iBT（インターネット版 TOEFL）80点以上又は実用英語技能検定（公益財団法人日本英語検定協会）準1級以上のいずれか1つのスコアや級を取得していること（申込期限令和6年12月12日までに要件を満たし、かつ有効なものに限る）

(4) 次のいずれかに該当する者（申込期限令和6年12月12日までに要件を満たし、かつ第2次試験時に有効なものに限る）

- ・身体障害者手帳の交付を受けている人
- ・身体障害者福祉法第15条の規定により都道府県知事の定める医師（以下「指定医」という）、労働安全衛生法第13条に規定する産業医又は人事院規則10-4（職員の保健及び安全保持）第9条第1項に規定する健康管理医その他これに準ずる者が作成した、障害者の雇用の促進等に関する法律別表に掲げる身体障害を有する旨の診断書又は意見書（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう若しくは直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫又は肝臓の機能の障害については、指定医が作成した診断書又は意見書に限る）の交付を受けている人
- ・都道府県知事、政令指定都市市長又は中核市市長が発行する療育手帳の交付を受けている人
- ・児童相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター、精神保健指定医、障害者職業センターにより知的障害があると判定された人
- ・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人

(5) 昭和39年4月2日以降に出生した者

(6) 地方公務員法第16条（欠格条項）及び学校教育法第9条（欠格事由）に該当しない者

5 推薦人数

特に人数枠を設けない。

6 推薦手続等

(1) 提出書類

ア 送付状（別添様式を参照のこと）

- イ 「推薦書」(別添様式を使用のこと)
- ウ 成績証明書(学校所定の様式)
- エ 「身体障害者手帳」、「療育手帳」又は「精神障害者保健福祉手帳」等の写し
- オ 「論文用紙」(別添様式を使用のこと)に記載の論文題に関する800字程度の論文(原則本人自筆。代筆が適当な場合は、理由書を添付)
- カ 「受験申込書」(別添様式を使用のこと)(原則本人自筆)
- キ 「受験者カード」(別添様式を使用のこと)(原則本人自筆)
- ク 本人への受験票等送付のための返信用封筒(角形2号)
※ 180円分の郵便切手を貼付し、本人への送付先を明記すること。
- ケ 4 推薦の基準(3)ウを証明する書類の写し(中学校・高等学校 外国語(英語)の希望者のみ)

(2) 申込方法

各大学において関係書類を取りまとめ、簡易書留により提出する。
封筒(角形2号)の表面に「大学推薦受験申込書在中」と朱書きの上、取りまとめを担当する部課、担当者名及び連絡先を明記する。

(3) 申込期間

令和6年11月18日(月)～令和6年12月12日(木)(必着)

(4) その他

試験の実施にあたっては、必要に応じて点字、拡大文字や手話通訳者の準備等をする。また、障がいの種類や程度によって実技試験の一部を免除し、代わりに他の試験を行うなどの対応も行う。

模擬授業のテーマと評価の観点及び個人面接の評価の観点については別紙を参考にすること。

7 第1次試験(論文試験を含む)

大学からの推薦書、在学時の成績、4 推薦の基準(3)ウのスコアや級(中学校・高等学校 外国語(英語)の希望者のみ)及び課題論文により選考する。

選考結果は、大学に1月下旬までに通知する。令和7年1月24日(金)までに届かない場合は神奈川県教育委員会 教職員人事課 教職員採用グループ(045-210-8190)まで連絡すること。

8 第2次試験(論文試験を除く)

試験内容については、模擬授業、個人面接、実技試験(一部の教科で実施)とする。

実技試験の内容については別紙を参考にすること。

第2次試験の詳細は、第1次試験合格者に別途通知する。

9 第2次試験の結果発表について

令和7年3月19日(水)に大学宛と本人宛に送付する。ホームページでの公表は行わない。

3月28日(金)までに届かない場合は神奈川県教育委員会 教職員人事課教職員採用グループ(045-210-8190)まで連絡すること。

10 採用

(1) 原則として、大学推薦制度による採用候補者名簿の登載者(第2次試験合格者)は、令和8年4月1日付けで、神奈川県内公立学校(横浜市立、川崎市立及び相模原市立を除く)での採用とする。大学院進学等による採用期日の延期については、令和7年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験(夏期試験)実施要項(令和7年4月公開予定)を参照すること。

(2) 日本国籍を有しない者は、任用期限を付さない常勤講師として採用する。

(3) 採用後の配属については、障がいの種類や程度を勘案して配属する。

11 その他

不合格になった者でも令和7年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験(夏期試験)に申し込むことができる。その際には、他の受験者と同様、申込み手続が必要となる。

合格者には、国へ障がい者雇用状況を報告するための確認がある。

令和8年4月1日採用 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験
(大学推薦制度 障がい者区分) について

この試験について、次のとおりお知らせいたします。

1 募集校種等・教科 (予定)

校種等	教科 (科目)
小学校	
中学校	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、外国語(英語)
高等学校	国語、地理歴史・公民(日本史、世界史、地理、公民)、数学、情報、理科(物理、化学、生物)、音楽、美術、保健体育、家庭、外国語(英語)
特別支援学校	
養護教諭	
栄養教諭	

2 主な日程について (予定)

- (1) 要領送付 令和6年9月下旬
- (2) 申込期間 令和6年11月18日(月)～令和6年12月12日(木)(必着)
- (3) 第1次試験の結果送付日 令和7年1月中旬
- (4) 第2次試験実施日 令和7年2月中旬
- (5) 合否結果通知送付日 令和7年3月19日(水) 発送

3 模擬授業について

(1) テーマについて

小学校	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、児童一人ひとりの確かな学力の向上をめざした授業
中学校	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、生徒一人ひとりの確かな学力の向上をめざした授業
高等学校	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、問題発見・解決能力を育むことをめざした授業
特別支援学校	各教科等の特質をふまえ、児童・生徒等一人ひとりの発達の段階等に応じたキャリア発達を促すことにつながる授業
養護教諭	児童・生徒等の現状と課題を養護教諭の視点でとらえ、豊かな人間性の育成や健康・体力づくりをとおして、自分や相手、一人ひとりを尊重することを大切にした授業
栄養教諭	児童・生徒等の現状と課題を栄養教諭の視点でとらえ、豊かな人間性の育成や健康・体力づくりをとおして、自分や相手、一人ひとりを尊重することを大切にした授業

内容及び留意点は次のとおりです。

- 受験する校種等・教科(科目)等の授業を行ってください。
- 授業は研修室を教室と見立てて行います。机や椅子の移動、着替え、照明の消灯などできません。また、会場の電源は使用できません。なお、危険物(火気、劇薬等)の持込は禁止します。通信機能も使用禁止です。

- テーマに沿った1単位時間の授業計画を立て、指導案(注意参照)を作成し、導入から展開にかけての最初の10分間(準備、片付けを含む)を模擬授業として行います。
- 同じグループの受験者が児童・生徒役になります。授業者から発問し、児童・生徒役が答えてもかまいません。ただし、児童・生徒役を受験者から質問をしたり、意見を言ったりすることはできません。

(注意) 指導案作成等の詳細は、第1次試験合格者に郵送でお知らせしますが、A4サイズの紙片面1枚にまとめてください。受験教科が外国語(英語)の方は、表面に英語の指導案、裏面に日本語の指導案を作成し、両面1枚にまとめてください。

(2) 模擬授業の評価の観点について

模擬授業は、次の観点で評価し、総合的に評定します。

○指導力・表現力

- ・板書・指示は的確か
- ・教材作成に創意工夫はあるか
- ・柔軟な対応ができているか
- ・子どもの意欲を引き出す構成か

○姿勢・態度

- ・活気や熱意があるか
- ・児童・生徒と向き合っているか
- ・安心感があるか
- ・誠実に取り組んでいるか

4 個人面接の評価の観点について

個人面接は次の観点で評価し、総合的に評定します。

○姿勢・態度

- ・社会人としてのマナーを身につけているか
- ・落ちついていてるか
- ・まじめに対応しているか
- ・礼儀正しいか
- ・明朗快活か

○判断力・表現力

- ・質問を正しく理解しているか
- ・考えていることを十分に述べているか
- ・話はわかりやすいか
- ・音声は明瞭か
- ・用語は適切か

○堅実性・信頼感

- ・高い倫理観があるか
- ・計画性があるか
- ・公平・公正であるか
- ・肯定的に物事を捉えられているか
- ・情緒は安定しているか

○協調性・社会性

- ・リーダーシップがあるか
- ・仲間と協力して活動できるか
- ・保護者・地域の方と協力して活動できるか
- ・組織の一員として行動できるか
- ・他者を共感的に理解できるか

○専門性・多様性

- ・教育に対する情熱があるか
- ・自ら学ぶ姿勢があるか
- ・得意分野の向上と活用について考えているか
- ・豊富で多様な経験を教職に生かせるか
- ・決断力・主体性があるか

○適応性・使命感

- ・豊富な生活体験があるか
- ・子どもへの教育的愛情があるか
- ・粘り強く指導することができるか
- ・職務についての自覚があるか
- ・人権に対する認識を持っているか

5 実技試験について

実施日は、令和7年2月15日（土）～2月17日（月）を予定しています。日程及び会場等の詳細は、第1次試験の合格者に通知します。

校種・教科	実技試験の内容
中学校・高等学校 （音楽） 2月15日（土）	<p>「リコーダーによる独奏」（暗譜演奏）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーはソプラノリコーダー又はアルトリコーダーのいずれかとします。 ・演奏する曲は、中学校又は高等学校の音楽の教科書の中から、楽器の特徴を生かした表現が十分にできるものを各自で選曲してください。 ・演奏する曲の楽譜を2部用意し、当日持参してください（使用するリコーダーの音域に合わせて移調して演奏する場合は、その教科書の写しも提出してください）。 <p>「弾き歌い」（楽譜を見て歌うことも可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の曲のピアノでの弾き歌いを行います。 ○「'O sole mio」 G. Capurro 作詞/E. di Capua 作曲 ・調については自由とします。 ・使用する伴奏譜については自由とします。
中学校・高等学校 （美術） 2月15日（土）	<p>「素描着彩」鉛筆によりモチーフを描き、水彩絵の具等で着彩</p> <p>「立体」与えられたテーマについて、配付された紙等を用いて立体的に構成</p>
中学校・高等学校 （保健体育） 2月17日（月）	<p>次の4種目を実施します。</p> <p>「バスケットボール」「柔道」「マット運動」「水泳（クロール及び平泳ぎ）」</p>
中学校 （技術） 2月15日（土）	<p>技術分野の内容に関する基礎的実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校学習指導要領「第8節 技術・家庭」より「第2 各分野の目標及び内容」〔技術分野〕「2 内容」の「A 材料と加工の技術」に関するもの（中学校技術・家庭科分野の検定済教科書に掲載されている程度の課題）
中学校・高等学校 （家庭） 2月15日（土）	<p>「衣生活」に関する基礎的実技</p>
中学校・高等学校 （外国語（英語）） 2月15日（土）	<p>英語コミュニケーション能力試験（英語教育や英語教授法等についての意欲、知識、技能を含む）</p>

※ 面接試験等を欠席、途中棄権した者は、実技試験を受けることはできません。

（注意）電話等による問合せには一切お答えできません。

令和 年 月 日

神奈川県教育委員会教育長 殿

大学名

職・氏名

印

令和8年4月1日採用 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における
大学推薦制度にかかる推薦書等について（提出）

このことについて、次のとおり提出します。

- 1 推薦する学生（院生）（※推薦の区分、学部・学科、氏名を記載してください。）
- 2 提出書類
 - (1) 送付状（※本紙を参考に作成してください。）
 - (2) 推薦書
 - (3) 成績証明書
 - (4) （※中学校・高等学校外国語（英語）教員区分ならびに教職大学院区分または障がい者区分において中学校・高等学校外国語（英語）を希望する者）要領4 推薦の基準(3)ウを証明する書類の写し
 - (5) 論文用紙
 - (6) 受験申込書
 - (7) 受験者カード
 - (8) 返信用封筒
 - (9) （※障がい者区分のみ）障害者手帳等の写し
- 3 問合せ先
 - ・担当部署名
 - ・担当者名
 - ・郵便番号、住所
 - ・電話番号
 - ・ファクシミリ番号

受験申込書

(大学推薦用)

※第1次	※第2次	※実技	校種等・教科			※受験番号

選考区分(番号を1つ〇で囲む)							校種等(記号を1つ〇で囲む)					教科(BCの受験者のみ)	
特別選考(大学推薦)							小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭	栄養教諭	科目(C地理歴史、理科の受験者のみ)
小学校	小学校(理英)	中(美・技・家)	中・高(英語)	特別支援学校	教職大学院	障がい者							
1	2	3	4	5	6	7							

ふりがな	生年月日		西暦 年 月 日生		写真貼付欄 1 申込みの際に、写真を貼ってください。 2 写真は、申込み前3ヶ月以内に撮影した、縦4cm、横3cm、上半身脱帽、正面向きのものがが必要です。 3 写真の裏面に必ず氏名校種等・教科を記入してください。
氏名	年齢		2026年4月1日現在 歳		
ふりがな					
現住所	〒 [必須]電話番号① () - [任意]電話番号② () -				
上記の現住所で連絡がとれない場合の連絡先	〒 [任意]電話番号① () - [任意]電話番号② () -				

最終学歴

学校名: _____ 西暦 年 月 日 卒業(修了)・卒業(修了)見込

学部(研究科): _____ 学科(専攻): _____

受験する校種等 教科の免許状	校種等	種類	教科	取得(見込)年月	取得状況
					西暦 年 月
				西暦 年 月	取得・見込

【中学校(保健体育)、高等学校(保健体育)の受験者のみ】

<保健体育実技試験 種目について>
種目は「バスケットボール」「柔道」「マット運動」「水泳(クロール及び平泳ぎ)」となります。
右の表の性別に〇をしてください。

性別(〇で囲む)	
男	女

【懲戒処分歴】

必ず有無のいずれかに〇をつけ、「有」の場合は懲戒の種類等を記入すること

有	無	年(西暦)	月	懲戒の種類等	発令者
有	無				

私は、要領に掲げてある推薦の基準をすべて満たしており、学(部)長からの推薦を受けました。この申込書で希望した神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験を受けたいので申し込みます。
なお、この申込書の記載事項に相違なく、本試験の結果等の情報を、出身大学に提供することについて同意します。
(この欄は、自筆で記入してください。)

西暦 年 月 日
氏名 _____
(自筆署名)

〇 神奈川県内(横浜市、川崎市及び相模原市を除く)の市町村立の小学校、中学校及び特別支援学校並びに神奈川県立の高等学校、中等教育学校及び特別支援学校での臨時的任用職員及び非常勤講師の登録依頼のために、私の個人情報(氏名・住所・電話番号・所有教員免許状等)を提供することについて

(同意する・同意しない)

※「同意する」に〇をつけた方には、必要に応じて登録手続のための連絡をすることがあります。

《 受 験 申 込 書 等 記 入 要 領 (大学推薦制度用) 》

- 1 ※欄は、記入しないでください。また、該当する項目は、○で囲んでください。
- 2 記入は、ペンかボールペン（黒又は青インク）を用い、楷書で記入してください。
- 3 「校種等・教科」欄は、「受験者カード記入例」の校種等・教科コード表を参照して、4桁の数字で記入してください。
- 4 「選考区分」欄の該当番号は、1つだけ○で囲んでください。
- 5 「校種等」欄は、該当する校種等のアルファベットを1つだけ○で囲んでください。
「教科」欄は、中学校及び高等学校の場合のみ記入してください。
「科目」欄は、高等学校の地理歴史と理科の場合のみ記入してください。
- 6 「年齢」欄は、採用時（令和8（2026）年4月1日現在）の年齢を記入してください。
- 7 「最終学歴」欄は、卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの短大・大学・大学院名と学部（研究科）・学科（専攻等）名を記入し、卒業（修了）又は卒業（修了）見込の別を○で囲んでください。
- 8 「受験する校種等・教科の免許状」欄は、受験する校種等・教科の免許状について先に取得したものの（取得予定のもの）の校種等、種類、教科及び取得（見込）年月を記入し、取得・見込の別を○で囲んでください。
※ 「理科、英語に優れた力量をもつ小学校教員」区分については、小学校教諭免許状の取得状況及び、中学校又は高等学校教諭免許状（理科又は外国語（英語））の取得状況を記入してください。
※ 「中学校・高等学校外国語（英語）教員」区分及び「中学校（美術・技術・家庭）教員」区分については、中学校教諭免許状（外国語（英語）・美術・技術・家庭）又は高等学校教諭免許状（外国語（英語））取得状況を記入してください。
※ 複数免許の取得が条件になっている教科（高等学校 地理歴史・公民）については、もう一つの欄にも記入してください。

《記入例》

小学校	1種		特別支援学校	1種	
中学校	専修	保健体育	高等学校	専修	理科

- 9 「懲戒処分歴」欄は、必ず有無のいずれかに○をつけ、「有」の場合は懲戒の種類等を記入してください。
- 10 署名欄に自筆署名してください。自筆署名できない場合は、その理由、代筆者の氏名及び受験申込者との続柄を任意の様式に記入のうえ、押印し、受験申込書に添付してください。
- 11 登録依頼等のための個人情報の提供について、「同意する」又は「同意しない」の別を○で囲んでください。
- 12 受験申込書の写真貼付欄に貼る写真は、申込み前3ヶ月以内に撮影した、縦4cm、横3cm、上半身、脱帽、正面向きのものを、裏面に氏名、校種等・教科を記入してから貼ってください。受験票への貼付用と第2次試験用に同一の写真がさらに2枚（計3枚）必要になります（各自保管）。
- 13 中学校（保健体育）、高等学校（保健体育）の受験者の第2次試験の実技試験種目は、「バスケットボール」「柔道」「マット運動」「水泳（クロール及び平泳ぎ）」となります。また、該当する性別を○で囲んでください。
- 14 「受験者カード記入例」に従って、「受験者カード」の太線の枠内のみ鉛筆で楷書でていねいに記入してください。

- ◎ 申込記載事項が正しくないことが明らかになった場合は、合格を取り消すことがあります。
- ◎ 日本国籍を有しない人は、任用期限を付さない常勤講師としての採用となります。

7 受験者カード

(令和8年4月1日採用 大学推薦用)

・記入例に従って、太線の枠内のみ**鉛筆で楷書**でいねいに記入してください。

C#		校種等・教科				※受験番号			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
G	A								

氏名(漢字で記入)			
姓		名	
11	20	21	30

氏名(カタカナで記入。濁点(°)、半濁点(゜)は1字として扱う)																										
姓	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	名	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55

生年月日							
年(西暦)				月		日	
56	57	58	59	60	61	62	63

最終学校コード					最終学校名					
64	65	66	67	68	69					104

最終学校 (ア) (イ)		卒業(修了)年月					
学校	卒業	年(西暦)				月	
105	106	107	108	109	110	111	112

都道府県	
113	114

受験者カード記入例

7 受験者カード

(令和8年4月1日採用 大学推薦用)

・記入例に従って、太線の枠内のみ鉛筆で楷書でいぬいに記入してください。

C#		校種等・教科				※受験番号			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
G	A	1	0	1	2				

下欄の校種等・教科コード表から、4桁の数字で記入してください。

氏名(漢字で記入)			
姓		名	
11	20	21	30
神	奈	川	一平

漢字で姓名をそれぞれ記入してください。

氏名(カタカナで記入。濁点(・)、半濁点(゜)は1字として扱う)										
姓	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
	カ	ナ	カ	ワ						
名	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
	イ	ツ	ヘ	イ						

生年月日は、西暦で記入してください。
(例)平成15年9月2日生まれの場合は、「20030902」となります。
和暦と西暦の対応は、下欄の表を参考にしてください。

生年月日						
年(西暦)		月		日		
57	58	59	60	61	62	63
2	0	0	3	0	9	02

最終卒業(修了)学校名を受験者カード裏面の学校コード表から選び、コード番号を5桁の記号で記入してください。
学校コード表に該当する学校名がない場合は、「99999」と記入してください。
また、学歴が複雑で最終卒業学校が特定できない場合も「99999」と記入してください。

最終学校の学校欄は次の1~9の区分から1つ選び、数字で記入してください。

- 1 教員養成課程のある国立大学の教育学系学部
- 2 国立大学(1を除く)
- 3 公立大学
- 4 私立大学
- 5 高等学校(大検・高認含む)
- 6 短期大学
- 7 指定教員養成機関等
- 8 大学院等(専攻科含む)
- 9 その他

最終学校コード					最終学校名
64	65	66	67	68	69
A	0	0	3	4	横浜国立大学

最終卒業(修了)学校名を記入してください。

最終学校(ア)	卒業(修了)年月						
学校	卒業年(西暦)	月					
105	106	107	108	109	110	111	112
1	2	2	0	2	6	0	3

都道府県

113	114
1	4

最終学校の卒業欄は次の1~2のどちらかの数字を記入してください。
1 卒業(修了)
2 卒業(修了)見込

卒業(修了)年月を西暦で記入してください。
(例)2026年3月見込 → 「202603」

下欄の都道府県コード表から、自宅のある都道府県名コードを2桁の数字で記入してください。大学等で実家を離れている場合には、実家のある都道府県名コードを記入してください。

校種等・教科コード表

校種等	教科	コード
小学校	小学校全科	1012
	国語	2102
中学校	社会	2202
	数学	2302
	理科	2402
	音楽	2512
	美術	2522
	保健体育	2542
	技術	2552
	家庭	2562
英語	2602	
特別支援学校		4011
養護教諭		5042
栄養教諭		6052

校種等・教科コード表

校種等	教科	コード
高等学校	国語	3101
	地歴・公民(公民)	3221
	地歴・公民(日本史)	3251
	地歴・公民(世界史)	3261
	地歴・公民(地理)	3271
	数学	3301
	情報	3311
	理科(物理)	3411
	理科(化学)	3421
	理科(生物)	3431
	音楽	3511
	美術	3521
	保健体育	3541
	家庭	3561
英語	3601	

都道府県コード表

都道府県名	コード
北海道	01
青森県	02
岩手県	03
宮城県	04
秋田県	05
山形県	06
福島県	07
茨城県	08
栃木県	09
群馬県	10
埼玉県	11
千葉県	12
東京都	13
神奈川県	14
新潟県	15
富山県	16
石川県	17
福井県	18
山梨県	19
長野県	20
岐阜県	21
静岡県	22
愛知県	23
三重県	24

都道府県コード表

都道府県名	コード
滋賀県	25
京都府	26
大阪府	27
兵庫県	28
奈良県	29
和歌山県	30
鳥取県	31
島根県	32
岡山県	33
広島県	34
山口県	35
徳島県	36
香川県	37
愛媛県	38
高知県	39
福岡県	40
佐賀県	41
長崎県	42
熊本県	43
大分県	44
宮崎県	45
鹿児島県	46
沖縄県	47
外国	99

参考

和暦	西暦
昭和64年	1989年
平成元年	1989年
平成2年	1990年
平成3年	1991年
平成4年	1992年
平成5年	1993年
平成6年	1994年
平成7年	1995年
平成8年	1996年
平成9年	1997年
平成10年	1998年
平成11年	1999年
平成12年	2000年
平成13年	2001年
平成14年	2002年
平成15年	2003年
平成16年	2004年
平成17年	2005年
平成18年	2006年
平成19年	2007年
平成20年	2008年
平成21年	2009年
平成22年	2010年
平成23年	2011年
平成24年	2012年
平成25年	2013年
平成26年	2014年
平成27年	2015年
平成28年	2016年
平成29年	2017年
平成30年	2018年
平成31年	2019年
令和元年	2019年
令和2年	2020年
令和3年	2021年
令和4年	2022年
令和5年	2023年
令和6年	2024年
令和7年	2025年
令和8年	2026年

学校コード表

○該当する学校コードがないときは、「99999」を記入してください。
 ○高等学校、専門学校等を卒業の人は、「99999」を記入してください。
 ○大学院等修了(見込)の人は、同一大学名の学校コードを記入してください。

大 学		し 芝浦工業大学	A2069	と 東洋英和女学院大学	A2394
あ 愛知大学	A2165	柴田学園大学(旧東北女子大学)	A2013	徳島文理大学	A2270
愛知学院大学	A2167	島根大学	A0060	獨協大学	A2040
愛知教育大学	A0044	秀明大学(旧八千代国際大学)	A2410	鳥取大学	A0059
愛知淑徳大学	A2301	淑徳大学	A2043	富山大学	A0036
青山学院大学	A2051	順天堂大学	A2070	な 長崎大学	A0073
秋田大学	A0012	松蔭大学	A2241	名古屋大学	A0043
麻布大学	A2346	上越教育大学	A0089	名古屋外国語大学	A2396
亜細亜大学	A2052	城西大学	A2037	奈良教育大学	A0056
い 茨城大学	A0015	上智大学	A2071	鳴門教育大学	A0095
岩手大学	A0009	湘南工科大学	A2338	南山大学	A2182
う 宇都宮大学	A0017	昭和音楽大学	A2337	に 新潟大学	A0035
え 愛媛大学	A0066	昭和女子大学	A2073	二松學舎大學	A2115
お 桜美林大学	A2055	女子栄養大学	A2075	日本体育大学	A2123
大阪大学	A0051	女子美術大学	A2076	日本大学	A2116
大阪大谷大学	A2216	せ 信州大学	A0040	日本教育大学院大学	A2373
大阪教育大学	A0053	成蹊大学	A2079	日本女子大学	A2121
大阪経済大学	A2205	星槎大学	A2388	日本女子体育大学	A2122
大阪市立大学	A1018	成城大学	A2080	日本福祉大学	A2183
大阪体育大学	A2213	清泉女子大学	A2082	は 白鷺大学	A2351
大阪府立大学	A1019	聖徳大学	A2343	ひ 兵庫教育大学	A0097
大阪公立大学	A1017	専修大学	A2084	弘前大学	A0008
大妻女子大学	A2054	洗足学園音楽大学	A2149	広島大学	A0062
岡山大学	A0061	そ 仙台大学	A2018	ふ フェリス女学院大学	A2152
岡山理科大学	A2253	た 創価大学	A2085	福井大学	A0038
お茶の水女子大学	A0031	大正大学	A2086	福岡大學	A2283
か 学習院大学	A2056	大東文化大学	A2087	福岡教育大学	A0068
鹿児島大学	A0077	高千穂大学	A2088	福島大学	A0014
鹿児島国際大学	A2295	拓殖大学	A2089	佛教大学	A2199
神奈川大学	A2142	玉川大学	A2090	文化学園大学	A2413
神奈川県立保健福祉大学	A1078	ち 多摩美術大学	A2091	文教大学	A2315
神奈川工科大学	A2341	千葉大学	A0020	ほ 法政大学	A2126
金沢大学	A0037	中央大学	A2092	放送大学	A2404
鹿屋体育大学	A0096	中京大学	A2173	北翔大学	A2411
鎌倉女子大学	A2145	つ 中部大学	A2175	北海道大学	A0001
関西大学	A2218	筑波大学	A0016	北海道教育大学	A0002
関西外国語大学	A2220	津田塾大学	A2093	み 三重大学	A0046
関西学院大学	A2232	都留文科大学	A1007	宮城学院女子大学	A2024
環太平洋大学	A2382	鶴見大学	A2150	宮城教育大学	A0011
関東学院大学	A2144	帝京大学	A2094	宮崎大学	A0076
畿央大学	A2369	帝京科学大学	A2390	宮崎公立大学	A2406
北里大学	A2057	帝京平成大学	A2357	む 武蔵大学	A2128
岐阜聖徳学園大学	A2348	田園調布学園大学	A2391	武蔵野大学	A2131
九州大学	A0069	電気通信大学	A0032	武蔵野音楽大学	A2130
京都大学	A0048	と 天理大学	A2249	武蔵野美術大学	A2132
京都外国語大学	A2187	桐蔭横浜大学	A2331	め 明治大学	A2133
京都教育大学	A0049	東海大学	A2095	明治学院大学	A2134
京都産業大学	A2189	東海学園大学	A2372	名城大学	A2184
京都女子大学	A2190	東京大学	A0021	明星大学	A2136
共立女子大学	A2058	東京音楽大学	A2097	目白大学	A2407
杏林大学	A2060	東京外国語大学	A0023	も 盛岡大学	A2342
近畿大学	A2332	東京海洋大学(旧水産・商船)	A0029	や 山形大学	A0013
く 国立音楽大学	A2061	東京学芸大学	A0024	山口大学	A0063
熊本大学	A0074	東京家政大学	A2098	山梨大学	A0039
群馬大学	A0018	東京家政学院大学	A2099	よ 横浜国立大学	A0034
け 慶應義塾大学	A2062	東京経済大学	A2100	横浜商科大学	A2153
こ 工学院大学	A2063	東京藝術大学	A0026	横浜市立大学	A1005
皇學館大学	A2185	東京科学大学(旧東京工業・旧東京医科歯科)	A0028	り 立教大学	A2137
高知大学	A0067	東京工芸大学	A2151	立正大学	A2138
甲南大学	A2234	東京女子大学	A2103	立命館大学	A2200
神戸大学	A0054	東京女子体育大学	A2105	琉球大学	A0078
國學院大學	A2064	東京造形大学	A2107	龍谷大学	A2347
国際武道大学	A2334	東京電機大学	A2108	わ 和光大学	A2139
国土館大学	A2066	東京都市大学	A2414	早稲田大学	A2140
駒沢大学	A2067	東京都立大学(旧首都大学東京)	A1004	短期大学	
さ 埼玉大学	A0019	東京農業大学	A2109	鎌倉女子大学短期大学部	B3365
佐賀大学	A0072	東京福祉大学	A2370	昭和音楽大学短期大学部	B3368
相模女子大学	A2147	東京理科大学	A2111	昭和女子大学短期大学部	B3301
産業能率大学	A2350	同志社大学	A2195	帝京短期大学	B3316
し 滋賀大学	A0047	東北大学	A0010	東海大学短期大学部	B3318
至学館大学	A2415	東北学院大学	A2019	横浜美術短期大学	B3374
静岡大学	A0042	東北福祉大学	A2021	その他	
実践女子大学	A2068	東洋大学	A2114	横浜高等教育専門学校	C6503
四天王寺大学	A2336				